

# 平成30年度 保育者のための実践講座年間スケジュール

講座番号	日時・場所	講座名	担当教員	講座内容	定員	必要物品など
1	6月23日(土) 13時～14時30分 第一音楽室	オルガニート初心者講座	阪田順子	オルガニートはオルゴールの基礎部分を取り出した小楽器です。ハンドを回すだけで夢のような音色を奏することができます。専用のシートに鉛筆で音の位置を押し、パンチで穴をあけます。皆さんのお好きな曲をオルガニートでならしてみませんか？シャープやフラットの無い曲から始めるのが気楽ですよ。	10名	筆記用具(B2以上軟かい鉛筆、消しゴム) お気に入りの曲の楽譜(♯や♭のないものが望ましいです)
2	8月4日(土) 10時～11時30分 252コンピュータ演習室	保育実践のための情報機器活用 ～ビスケットプログラミング体験～	糟谷咲子	公立小学校では2020年度からプログラミング教育が必修化されることになりました。物事には手順があり、手順を踏むと、物事をうまく解決できるといった論理的に考えていく力、すなわち「プログラミング的思考」を身に付けることが目的です。プログラムを打ち込まない「ビスケットプログラミング」では、小学生だけでなく幼児も楽しくこの体験をすることができます。保育者の先生方にもぜひ体験をしていただければと思います。	10名	特になし
3	9月22日(土) 13時30分～15時 244教室	自立支援計画書作成のポイント ～分離理由を明確に～	児玉俊郎	入所してくる子どもたちの権利擁護が施設の最大の役割です。子どもたちの権利を守るためにないがしろにしているかを明確にしたものが自立支援計画書です。各施設で作成している自立支援計画書の見立てを間違えると、必ずそこには不適切なつながりが存在してきます。そのために、児童自立支援計画書の作成に当たり内をポイントとして作成していけばよいのかを参加者とともに考えていきたいと思っています。	20名	持ち物は「児童自立支援計画書」の原本
4	10月6日(土) 10時～11時30分 体育館	子どもの運動遊びのあり方	内藤 謙	幼児期は、運動遊びを通してさまざまな動きが身につく時期であるとされています。しかしながら、現在の子どもの運動遊びのための時間は昔に比べて減ってきているため、からだを動かすことが苦手な子どもたちが増えている状況にあります。本講座では、幼児期における運動遊びの重要性をお話するとともに、子どもの多様な動きを引き出す運動遊びについて、みなさんとともに実践を交えて考えてみたいと思います。	20名	動きやすい服装、体育館シューズ、筆記用具 年中児、年長児頃を対象とします。
5	10月6日(土) 13時～14時30分 245教室	家庭支援と保育相談支援(5)～新・保育所保育指針における「子育て支援」～	徳広圭子	今年度からの保育所保育指針では「保護者に対する支援」の章を「子育て支援」に改めました。また次年度から保育士養成校では「家庭支援論」が「子ども家庭支援論」に、「保育相談支援」が「子育て支援」に代わります。そこで保育所だけでなく幼稚園や認定こども園も含めて、これからどのような子育て支援サービスを展開すべきか、一緒に考えてみましょう。 この「家庭支援と保育相談支援」は2011(平成23)年度から続く5回目の講座になりますが、初めての参加も大歓迎です。	20名	筆記用具
6	11月17日(土) 10時～11時30分 230教室	仏教保育・真宗保育のこころ	蛭川祥美	1. どうして仏さまに手を合わせるの？(仏教保育・真宗保育の理念、合掌・礼拝をする意味、食前・食後の言葉の意味、お仏壇の役割など) 2. どうして仏の子と呼ばれるの？(仏教的情操教育の意味など) 上記の2つのテーマで、仏教保育・真宗保育のこころについて、仏教系の保育園・幼稚園・こども園の先生方と一緒に考えてみようと思います。	20名	筆記用具
7	11月17日(土) 10時～11時30分 231教室	身近な自然あそびを楽しもう	木戸 啓絵	近年あらためて、子どもたちの自然体験の重要性が指摘されています。本講座では、岐阜県内や県外、海外の園での事例も紹介しながら、身近な自然あそびの魅力についてお話しします。実際に簡単なワークを体験していただきながら、子どもの育ちに自然はどのような影響を与えているのか、一緒に感じて考える時間にできたらと思います。	15名	汚れてもいい服装 (屋外にです)
8	11月17日(土) 10時～11時30分 252コンピュータ演習室	園務情報化の現状と課題	糟谷咲子	2017年度に県内の幼稚園・保育園・こども園を対象として、園務の情報化の状況についてアンケートを実施し、多くの園にご協力いただきました。アンケートの結果も活用して園務情報化の現状について情報を共有し、情報化に対する意見を交換します。また統合型園務支援システムについても情報交換します。	20名	特になし
9	11月17日(土) 10時～11時30分 244教室	愛着形成について～安心感を与えるとは～	児玉俊郎	入所児童の共通課題には愛着形成不成立が存在している可能性が高いです。その子どもたちにどのように愛着を再構築して行くのかを参加者とともに考えることができたらと思います。また、私たちのかかわりで子どもたちは安心感を得ているのかを振り返ることができれば日々の実践にも行かせていくのではないかとかが得ております。かかわりのチェック表などがあれば提供していただきたいと思っています。	特になし	持ち物は施設内の「かかわりのチェック表」
10	11月24日(土) 10時～11時30分 231教室	絵本の教育的意義を考えよう	安部日珠沙	子どもは絵本や物語に親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、感性や想像力を培い、先生や友達と心を通わせていきます。保育において、絵本は子どもの人格形成に寄与する重要な教材のひとつです。そのため、より適切な保育を行う上で、子どもに読み聞かせる絵本の選別はもちろん、保育者は絵本が持つ教育的意義をよく弁えておかなければなりません。本講座では、幼稚園教育要領等の内容をもとに、絵本や物語が持つ教育的な側面を、「赤ずきん」のお話を例に考えていきたいと思っています。	20名	筆記用具
11	12月1日(土) 13時～14時30分 第一音楽室	歌の常識？非常識？	長川 慶	「息を大きく吸って歌いましょう」「大きな口で歌いましょう」「お腹から声を出しましょう」いずれも保育現場や学校でよく聞かれる言葉です。しかし、これらの文言は果たして適切なのでしょうか。本講座では、そんな歌の常識と一緒に歌いながら確かめ、美しく響く歌い方について考えていきます。より充実した保育現場での歌唱のために、保育者自身と子どもたちの歌声について一緒に考えましょう。	20名	特になし

※講座番号3は、講義時間が変更となりました。